

ジュニア強化・育成特別委員会

I JBAの方針(ユース育成事業)

1 全 国

- ①U 1 6 から A 代表までの「世界で戦うチームの強化」
(各カテゴリーの代表チームの強化)
- ②U 1 5 の「ジュニアユースアカデミー」の実施
U 1 2 ・ U 1 3 ・ U 1 4 の「ナショナルジュニアユース育成キャンプ」の実施
(各カテゴリーの代表の個の強化)

2 ブロック

- *ブロックユース育成コーチ、ブロックチーフマネジャーの役割
- ①ブロックエンデバー事業(技術指導・伝達講習会)の実施
- ②各カテゴリー育成選手のユースキャンプへの推薦

3 都道府県

- *都道府県ユース育成コーチ、都道府県チーフマネジャーの役割
- ①都道府県エンデバー事業(技術指導・伝達講習会)の実施
- ②ブロックエンデバーへの選手推薦
- ③都道府県における選手発掘の体制構築と JBA 指導方針の推進

II 国体改革

平成 3 1 年度の茨城国体から、少年種別は U 1 6 とし、高校生は 2 年生の早生まれまでと中学生で構成する。登録人数は 1 2 名で、中学生を 2 名以上登録しなければならない。2 4 チーム参加で、北信越ブロックからは 2 県。

上記の J B A の方針(ユース育成事業)や国体改革を受けて、本委員会では下記のことについて、提案します。

III 基本方針

U 1 2 (ジュニア) ~ U 1 3 ・ U 1 4 ・ U 1 5 (ジュニアユース) ~ U 1 6 ・ U 1 7 ・ U 1 8 (ユース) への強化・育成を確実に行之、都道府県対抗ジュニア大会代表強化から国体代表強化への接続がスムーズに行えるようにする。

ジュニア強化・育成プロジェクト

3月第3土曜日 …ミニ・JAS・少年種別・成年種別

ミニ	4月	5月	6月 地区大会	7月 東北電力杯県大会	8月 東北電力杯本大会	9月	10月	11月 地区大会	12月 全ミニ県予選 北信越大会	1月	2月	3月 全国大会
U-12				各地区で選考会 練習会(月1回)						県ミニオール スター大会		全国大会出場 チーム
中学	4月	5月	6月 都市大会	① 地区・県大会	② 北信越・全国	③ 都市新人戦	④ 10月	⑤ 11月 市内大会	⑥ 12月 地区新人	⑦ 1月 BSN杯	⑧ 2月	⑨ 3月
中学1年 U-13				地区選考 ミニからの情報提供を 元に選考		県一次選考会 選考会(対抗戦)			県二次選考会	最終選考会 Bチーム U-13	北信越交流	東北遠征
											地区別練習会 1月下旬可能 担当 対応	月1or2回 高校生とゲーム 地区強化委員(高校と中学)2名 男女別を実施 秋季地区ベスト4を基本
中学2年 U-14				地区選考		県一次選考会 選考会(対抗戦) 30名に絞る			県二次選考会	最終選考会 Aチーム U-14	北信越交流会	JAS
						※中3引退後も各 地区での練習会 参加の依頼			30名で実施		地区別練習会 1月下旬可能 担当 対応	月1or2回 高校生とゲーム 地区強化委員(高校と中学)2名 男女別を実施 秋季地区ベスト4を基本
中学3年 U-15						地区別練習会				地区別練習会		
								11月最終週 地区別対抗戦 会場:高志中等 担当:地区強化委員 男女別に高校1名 中学1名			2年生の活動に参加 ※自由参加とするが、そこまでに 新潟県の代表選手としての プライドを植え付けておく。	
高校	4月 近県・地区	5月	6月 県総体	7月	8月 ウインター予選	9月 北陸選手権	10月	11月 地区大会	12月	1月 BSN杯	2月	3月 選抜の日
高校1・2 年 U-16・								一次選考会			二次選考会 2月11日	第3週 新潟市内
高校 U-18			県総体翌週 候補追加	第2週 最終選考会 午前:ゲーム 午後:選考会議 県協会5名・スタッフ6名 各地区代表委員(5名)・各地区強化委員(10名)	北信越国体		本国体					
H31~ 中学3年								中3地区別対抗戦にて 次年度候補選手を国体 スタッフがリストアップ		地区別練習会		2年生の活動に参加 ※自由参加
H31~ U-16	第1週 高校1年生対象 強化練習会			第2週 最終選考会 高校生のみ 中学3年生は欠席	北信越国体		本国体	H31~スタッフ構成 監督…高校 Aコーチ…中学 主務…高校				

OU12(ジュニア)

- I ミニ年代における育成の考え方
- ゴールデンエージと言われる「個の力」を育成すべき大切な時期に、ミニオールスター大会がチーム力強化に偏った各代表チームにならないように、各地区の指導者へ意図を説明し、「個の強化の発表の場」となるようにする。
- II エンデバー事業との関係性
- 「個の強化の発表の場」に結び付けるように、練習会でエンデバー講習会の内容を取り入れてもらう。また、プレイタイムの平均化なども考慮する。
- III 新潟県ミニオールスター大会(仮称)に向けて
- (U12・11・10カテゴリーが全国大会で活躍できる育成・強化を図る。)
- 各地域でU12練習会を実施する。

IV 平成29年度

- 1 各地域でU12練習会を実施する。
- ①地区割 (案)
- ア 新潟市

④ (東区と北区、南区と秋葉区、中央区と江南区、西区と西蒲区)

新潟市協会
- イ 長岡市

② (南、北)

長岡市協会
- ウ 下越

③ (新発田、村上、五泉)

新発田市・村上市・五泉市協会
- エ 小千谷・十日町・魚沼

①

小千谷市・十日町市・魚沼市・南魚沼市協会
- オ 県央

①

三条市・燕市協会
- カ 柏崎

①

柏崎市協会
- キ 上越

①

上越市・妙高市・糸魚川市協会
- ク 佐渡

①

佐渡市協会
- 合計 14
- ②時期
- 6月

県ミニバスケットボール選抜優勝大会の地区予選会後、選考会を実施する。

(1回目)
- 7月～3月

練習会を実施する。(月1回、計9回)
- 11月

県ミニバスケットボール大会の地区予選会後、選考会を実施する。(2回目)
- 3月

選抜の日 (全国大会出場チームがJAS(B)と対戦)

V 平成30年度～

- 1 各地域でU12練習会を実施する。
- ①地区割 (前年度と同じ予定)
- ②時期
- 4月～3月

練習会を実施する。(月1回、計12回)
- 6月

県ミニバスケットボール選抜優勝大会の地区予選会後、選考会を実施する。

(1回目)
- 11月

県ミニバスケットボール大会の地区予選会後、選考会を実施する。(2回目)
- 1月

県ミニオールスター大会 (仮称)
- 3月

選抜の日 (選抜チームがJAS(B)と対戦)
- 2 新潟県ミニオールスター大会 (仮称) を開催する。
- 平成31年1月 (月末、14チーム)

OU13・U14・U15(ジュニアユース)

JASに向けての強化を基本とし、従来通りのA・Bチームの結成

I 平成29年度

1 年間の流れ

- 9月 地区選抜対抗戦
- Aチーム 30名前後
- Bチーム 15名以内（選考はするが、今後の練習会には全員が参加）
- 12月 強化練習会 兼U-13ブロックエンデバー代表選考会 兼オールスター2次選考会
- 1月 最終選考会 第3週BSN杯
- 2月 A・Bチーム 北信越交流戦 於：富山県
- 3月 選抜の日 第3週 於：新潟市内
- Bチーム 東北遠征 於：山形県
- Aチーム 都道府県対抗JAS 於：東京体育館他
- 2 選考に漏れた選手（1・2年生）の強化練習会（中高合同強化練習会 ← 仮称）
- ①時期 1月・2月・3月（平日・休日開催かは高等学校の日程による）
- ②内容 地区別に強化練習会を各地区高等学校にて実施
- 高校生との合同練習およびゲーム
- ④参加者 各地区選抜候補にあがった中学2年生・1年生
- ⑤指導者 高体連地区強化委員男女各1名、中体連地区強化委員男女1名
- 3 中学3年生の引退後の強化練習会（15強化練習会 ← 仮称）
- ①時期 11月最終週に新潟市内高等学校体育館（高志中等教育学校・体育館）
- ②内容 地区別対抗戦（4地区）を実施
- 指導スタッフは、高体連地区強化委員男女各1名、中体連地区強化委員男女各1名
- 各地区別に練習会を9月より実施
- 月1回を基本とするが、期日・会場については指導スタッフに調整してもらう。
- ただし、佐渡地区の選手は佐渡の高校で行う。
- 1月から3月の地区別中高強化練習会への参加案内。（任意参加）
- ③参加者 中学3年生で、中学2年時の各地区選抜候補選手
- ※追加 ・当該年の県大会までの活動を見て追加（誰が選考？地区強化委員？）
- ・身長が著しく伸びた選手は、10月まで選考する。

II 平成30年度～

- 1 中学1・2年生 平成29年度同様の流れ
- 2 中学3年生（国体登録・予備登録選手）
- ①全中出場選手は、全中終了後より強化練習会に参加
- ②全中に出場しない選手は、公式大会終了後より強化練習会に参加

OU16・U17・U18(ユース)

I 業務変更等

- 1 地区代表委員 選考会等への出席 … 一次選考会・最終選考会
- 2 地区選考委員
 - ①名称変更：地区強化委員
 - ②従来の秋季地区大会に於ける候補選手選考業務だけでなく、選考会への出席及び強化スタッフとして参加

II 平成29・30年度

- 1 年間の流れ
 - 11月 秋季地区大会 一次選考
 - 2月 11日 二次選考会 24名～30名に絞る
 - 3月 選抜の日(仮称) 於：新潟市
 - 6月 追加選考
 - 7月 第2週 最終選考会
 - 8月 北信越国体
 - 10月 国民体育大会
- 2 最終選考会
 - ①時期 7月第2週
 - ②内容 午前 … 絞り込んだ候補選手にてゲーム
午後 … 選考会
 - ③参加者 県協会：副会長(強化担当)、専務理事、副専務理事(強化担当)
強化委員長、強化副委員長、強化委員 7名
スタッフ：監督、A・コーチ、主務 6名
高体連：委員長、副委員長、地区代表委員、地区強化委員 17名
- 3 ジュニアとの連携(中高合同強化練習会)
 - ①時期 1月・2月・3月(平日・休日開催かは高等学校の日程による)
 - ②内容 地区別にジュニアユースとの強化練習会を各地区高等学校にて実施
高校生との合同練習およびゲーム
ジュニアユースはJASに選考されなかった地区候補選手
 - ③該当校 秋季地区大会ベスト4チームを基本とし、日程を調整
 - ④指導者 高体連地区強化委員男女各1名、中体連地区強化委員男女1名

III 主な変更点等

- 1 平成30年度
 - ①秋季地区大会における高校1年生(早生まれ)の候補選手推薦
 - ②2月の一次選考会なし
- 2 平成31年度
 - ①4月第1週より強化練習会を実施
 - ②国体スタッフ … 監督(高校)、A・コーチ(中学)、主務(高校)

○選抜の日(仮称)について

I 1次選考会(平成29年度のみ)

- 1 期 日 2月11日(土)
- 2 内 容 候補選手によるゲームを実施
- 3 選 考 24～30名に絞る 登録候補12名(Aチーム)・予備登録候補12名(Bチーム)
- 4 選考方法
 - ①～H29年度 国体スタッフにより選考
 - ②H30年度～ 中学3年生がメインになるので実施不可

II 選抜の日(仮称)

- 1 期 日 H29年度(平成30年)3月17日(土)
※3月第3週土曜日に実施する。
- 2 会 場 新潟市東総合スポーツセンター
- 3 試合方法
 - ①平成29年度(平成30年)
 - 第1試合 全国出場ミニ VS JAS(B)
 - 第2試合 JAS(A) VS 少年国体(B)
 - 第3試合 少年国体(A) VS 成年国体
 - ②平成30年度(平成31年)～
 - 第1試合 ミニ県選抜 VS JAS(B)
 - 第2試合 JAS(A) VS 少年国体(B)
 - 第3試合 少年(A) VS 前年度少年国体
 - 第4試合 成年国体 VS 新潟県学生選抜